

# 天台佛青連



発行元 / 天台仏教青年連盟  
 編集 / 布教広報委員会  
 発行所 / 〒372-0003 群馬県伊勢崎市華蔵寺町 6-1 華蔵寺内  
 印刷所 / 〒960-2101 福島県福島市さくら三丁目 2-7 福島カラー印刷株式会社  
 郵便振替 / 天台仏教青年連盟 02250-5-6765

題字 / 第256世天台座主  
 半田 孝淳 親下

平成26年  
 2月28日  
 発行

## index

代表 挨拶 ..... 1  
 天台宗宗務総長 御挨拶 ..... 2  
 延暦寺執行 御挨拶 ..... 2  
 復興支援合同ボランティア活動 ..... 3



神奈川結集報告 ..... 4  
 慈覚大師1150年御遠忌御祥当  
 御影供法要 ..... 5  
 平成25年度天台仏教青年  
 中央研修会報告 ..... 6  
 仏法興隆花まつり千僧法要 ..... 7

## 特集

防災士育成研修会報告 ..... 8~9



第35回東日本野球大会 北総大会 ..... 10  
 第48回天台青少年比叡山の集い ..... 11  
 協賛金協力者ご芳名 ..... 12~14  
 インフォメーション ..... 15  
 平成25年度常任委員会委員長報告 ..... 16

天台仏教青年連盟の会報発行にあたりご挨拶申し上げます。平素より一宗を始め延暦寺一山、全国の天台宗寺院ご住職様、各教区仏青会員の皆様には私ども天台仏教青年連盟の活動に対しまして、格別のご理解、ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。特に東日本大震災発生以来、復興支援のボランティア

活動に対し、一宗より多大なるご支援を賜わり、継続的な活動が出来ますこと重ねて御礼申し上げます。さて、平成二十五年臨時号において、就任のご挨拶申し上げますが、四月二十五日より新体制となり様々な行事に取り組みんで参りました。東日本大震災復興支援活動においては、間もなく三年を迎えようとしておりますが、まだまだ支援の手が必要とされております。その声に応えるべく、拠点を構え継続的に活動をしている各加盟団体の協力を得て、全国の会員が集い合同ボランティアを行いました。今年度、最後の合同ボランティアは、三月に福島におい

て行う予定にしております。また、近年日本各地で竜巻や台風を含めた自然災害によって大きな被害が出ており、災害が発生した近隣の各会員が積極的にボランティア活動を行っております。しかし、防災・減災・備災等の専門知識をもった人材が少なく、今後の活動においても人材育成が急務と考え、防災士資格を取得するための研修会を一宗と共催いたしました。そして、九月十一日〜十二日、全国大会神奈川結集においては、「信なくんば立たずく青年僧のあり方」をテーマに開催いたしました。慈覚大師一千五十年御遠忌の御祥当の年で御座いましたので、参加者全員が道服を

着用し、法楽において慈覚大師和讃を誦読いたしました。第一部においては、天台宗勸学、多田孝正先生をお迎えして、祖師先徳讃仰大法会開闢の年に当連盟が刊行しました「法華三昧行法」を用いてご講演していただきました。刊行にあたり、玉稿を頂戴いたしました多田先生に直接、ご指導をいただける大会となり、祖師より受け継がれているみ教えを今一度見直し、社会において少しでも天台青年僧としてのあり方を模索することが出来たと思えます。今後とも当連盟の更なる発展のため精進して参りますので、変わらぬご理解ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

## 継続

天台仏教青年連盟代表

井藤 圭順





### 御挨拶

天台宗事務総長

木ノ下 寂俊

天台宗仏教青年連盟会員の皆様方には、日々の御活躍誠に持って心強い限りと心より御礼を申し上げる次第で御座います。

日頃の仏教青年連盟の皆様方の活動につきましては、日常の法務研修は言うまでもなく、去る十二月十七、十八日に開催されました防災士養成の為の研修会におきましても四十名を超える会員の皆様に参加、熱心に聴講される等多岐にわたっておりま

す。防災士研修会の成果が生かされるよう各自が研鑽をつまれば数多くの防災士が誕生、積極的に活動を展開されんことを念願致します。

特に、この三月には、発生よ

要とされる地域も多々見受けられる事と存じますので今後是非とも支援の活動を御続け下さいますようお願い申し上げます。次、「祖師先徳鑽仰大法会」につきましては平成二十七年三月末日で第一期の慈覚大師一千百五十年遠忌が終了。第二期目に入り、恵心僧都、相応和尚、さらには傳教大師等、各祖師を鑽仰する行事が執行されるので、会員各位の研鑽の場として活用していただきたく思う次第であり、また、さらには会員の皆様方のお力をお借りする場面が、益々多くなることと思

います。結びにあたり、天台宗仏教青年連盟の発展と会員各位の大きな御活躍を祈念申し上げ御挨拶と致します。



### 御挨拶

延暦寺執行

武 覚超

天台仏教青年連盟の皆さまにおかれましては、井藤圭順代表のもと、日々の仏教活動はもとより、教区の諸行事、また天台一宗や総本山比叡山延暦寺のために、積極的な活動を展開されており、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

さらに対外的には、全日本仏教青年会に加盟し、諸宗派諸教団とも連携しつつ、東日本震災等への諸活動を展開したり、世界宗教者平和会議(WC R P)日本青年部会への参加など推進されていることは、幅広い

グローバルな宗教協力と対話の重要性を会員それぞれが認識するうえで、大きな意味を持つものであるとよろこんでおります。

宗祖伝教大師によって比叡山

に開かれた天台宗は、このたび祖師先徳鑽仰大法会でご遠忌をお迎えする慈覚大師、恵心僧都、相応和尚などによって、その基礎が固められ、多種多様な信仰や思想、文化を育んで参りました。

仏教の皆さまも、高祖大師や宗祖大師はもちろんのこと、慈覚大師やこれからご遠忌をお迎えする恵心僧都や相応和尚など、祖師先徳の素晴らしいみ教えや信仰、実践を常に修学・研鑽することを忘れず、精進されることを望みます。

そして、宗祖大師をはじめ、祖師がたのみ心をみずから心として、広く社会のため、世界のため、人々のために積極的な活動を進めていかれますことを念願し、ご挨拶といたします。



遠藤新兵衛商店

〒600-8334  
京都市下京区油小路通六条南入  
電話 (075) 351-1367  
FAX (075) 351-1476

法衣・稚児貸衣装・仏具荘厳品  
贈答記念品・授与品



東京店  
〒110-0015 東京都台東区東上野6丁目8番8号  
TEL 0120(55)0369  
FAX 0120(44)7560  
埼玉営業所  
〒345-0047 北葛飾郡杉戸町高野台東1丁目15-7  
TEL 0120(66)0369  
FAX 0120(66)5966  
ホームページ  
<http://www.suzukihouten.jp>

仏像の彫刻と修復

無料お見積り致します

みやこ仏像

埼玉県新座市野火止6-8-3-417

TEL048-481-7133

東日本大震災

# 復興支援合同ボランティア活動

## 安らぎと笑顔の溢れる交流

岩瀬福祉会 各施設 生活相談員



平成二十五年三月十三日、天台宗青年部の方々に岩瀬福祉会の三施設（鏡石・天栄・長沼ホーム）にてボランティア活動をしていただきました。震災以降、心の傷がまだ癒される間もない時、原発事故による風評被害などがある中で、ボランティアに来ていただいたことを大変嬉しく思いました。

鏡石ホームでは、五名の方に車椅子やベッド周りの清掃を行っていただき、その後、法話と入所者との交流を図っていただきました。交流では多くの笑顔が溢れ、大変楽しい時間を過ごしました。

天栄ホームには六名の方が来られ、交流スペース・玄関周り・車椅子の清掃を行っていただきました。午後には入所者の皆さんと交流の場を設けていただきました。入所者と一緒に行った

洗濯物たたみなどでは途切れなく会話が弾んでいました。愛知県や関西方面から来たことを知り、驚くとともに大変感謝していた入所者もいました。

長沼ホームでは、五名の方に中庭の清掃・車椅子の修理・整備をしていただきました。居室から見える中庭がきれいになることは入所者の心の安定につながり、大変ありがたいことでした。午後からは、ボランティア参加者の説法を拝聴でき、安心した穏やかな入所者の方々の顔が印象的でした。積極的に活動する青年部の皆さんの姿を見たり、顔を合わせて交流したりすることができ、各施設には沢山の笑顔が溢れ、とても有意義な一日になりました。青年部では様々な活動をなさっていると伺いましたので、また来ていただけると大変嬉しいです。ありがとうございます。

## 合同ボランティアに参加して

福島 矢吹 天空

東日本大震災から約二年が経過した昨年三月十三日に連盟主催の合同ボランティアで、福島県内の特別養護老人ホームにて、ボランティア活動をさせて頂きました。

私は、特別養護老人ホーム長沼ホームにて、中庭の清掃・車椅子の洗浄等をさせて頂きました。作業開始前に所長から伺った震災直後の状況、そこから復旧に向けての取り組みは、平時でも厳しい介護の現場において、物資不足・建物被害・放射能問題が重なり大変困難なものだったようです。

昨年の時点で、物資不足等は解消されましたが、放射能問題・震災による直接的ショックもあり、精神面でのケアは今後も大きな課題になるものと思います。

作業を終えて施設を後にする前に、ボランティア参加者による法話をされたのですが、ホールに集まった方々が真剣に耳を傾けている姿、法話を聞き終えた後の穏やかな笑顔を見て、宗教を通じての復興支援、またその後の社会貢献に意義と可能性

を感じる、大変ありがたい体験をさせて頂きました。



# 神奈川結集報告

天台仏教青年連盟全国大会

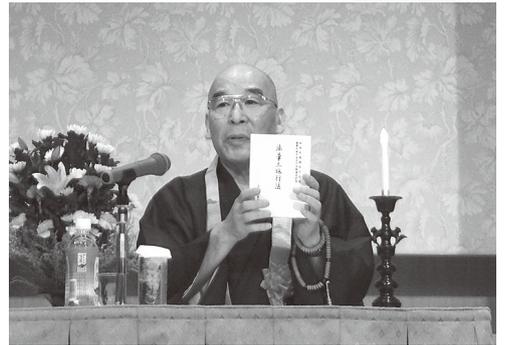
神奈川仏青 西郊 良貴

平成二十三年十月に開催された天台仏教青年連盟の結集委員会において、平成二十五年年度に全国大会結集の開催を懇請されました。本会では平成二十三年度の臨時総会において結集開催の協議をした結果、受諾する方向で意見が纏まり、天台仏教青年連盟平成二十四年度第一回定

例代議員会において平成二十五年年度全国大会結集開催地の立候補を行い、神奈川での開催が確定となりました。これに伴い当会では、平成二十四年度の臨時総会において神奈川結集実行委員会を発足いたしました。神奈川仏青が担当した全国大会結集の過去年度を振り返りま



すと、昭和六十三年、平成一五年度に開催されて以来十周年ぶり、三度目の開催となります。折しも慈覚大師一千五十年御遠忌という得難いご勝縁年にあたりますので、大会の法楽においては祖師の遺徳を偲び、大会テーマは『信なくんば立たず』青年僧としてのあり方』を掲げ参加する各教区仏青とともに、今後

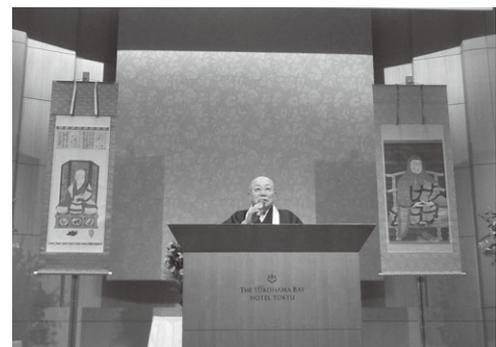


の仏青活動を考察する結果にしたいと取り決めさせて頂きました。

神奈川仏青はお陰様をもちまして、平成二十五年年度に創立四十周年の慶節を迎えます。この全国大会神奈川結集を創立四十周年を記念する事業の一環とさせて頂き、会員全員が委員となり諸準備を進めてまいりました。又、全国から参加する仏青諸師に、結集の講演会・懇親会・移動研修等一泊二日の日程に際しまして、大変に御協力頂き、スムーズに事業運営出来ましたこと、厚く御礼申し上げます。さらには、祖師先徳鑽仰大法会期間中にあたり、慈覚大師の一千五十年御遠忌のご勝縁年



の開催を考慮して、神奈川教区・命徳寺住職・天台宗勧学 多田孝正先生には「法華三昧行法」についてご講演を頂きました。過去五年の全国大会結集を振り返りますと、一大会の参加者数は延べ二〇〇名を超える盛大な大会となり、会場の担当は重責となりますが、至らないところが多々ありましたこと、ご容赦頂きたいと思えます。夕食懇親会は、主催の天台仏青連盟結集開催の方針通り、華美にならないよう青年僧侶らしく肅々と進めてまいりました。格



段のご理解とご協力を頂き無事に円成出来ましたこと御礼申し上げます。

# 慈覚大師一千五十年御遠忌御祥当御影供法要

天台仏教青年連盟事務局次長 隈井 修道

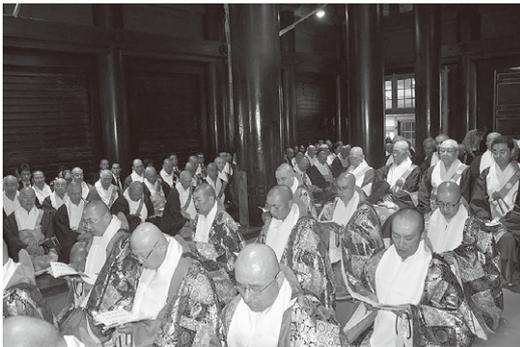
去る五月十四日、比叡山延暦寺根本中堂において「慈覚大師一千五十年御遠忌御祥当御影供法要」が半田孝淳天台座主陛下大導師のもと、厳かに執り行われました。同法要には、各教区代表、延暦寺一山並びに当天

台仏教青年連盟からは井藤代表をはじめ役員が出仕し、宗機顧問、各門跡寺院門主、大寺住職、宗務所長、宗議会議員など諸大徳、また縁故宗派・教団も随喜されました。

要の機会を得た「慈覚大師一千五十年御遠忌御祥当御影供法要」は、半田座主陛下を大導師に、午前十時三十分から根本中堂において営まれ、宗内外の要職者で満堂の中堂内部は、厳肅な雰囲気にもまれるなか、裏千家による献茶や、森友嵐士氏による大法会イメー

ジソング『雨上がりに咲く虹のように』の歌唱奉納もあり、慈覚大師の遺徳を偲ぶ思いが満ちあふれた法要となりました。

阿純孝大法会事務局



長より「慈覚大師のご業績から多くを学び、一般社会においても、声明、写経などへの関心がこの現実に対応すべく、我々は尽力しなければならぬ」と考えており、このことこそが大師への報恩行である」とご挨拶にあつたように、大師の信仰・志望を自らのものとし、法要の意義あるものにするには、我々青年僧はさらに努力を重ねなければならぬと思いを改めさせられました。



華頂庵  
寺院荘厳具・京仏壇・京仏具・法衣・袈裟・打敷

**株式会社 安藤**

本社 (〒605-0081) 京都市東山区古門前通花見小路東入ル  
0120-29-8161 (法衣部)  
0120-29-8165 (仏具部)  
0120-19-8168 (贈答品部)

東京店 (〒105-0014) 東京都港区芝2丁目15番2  
0120-3232-09

福岡店 (〒812-0036) 福岡市博多区上興服町12-7  
0120-2143-22

**井筒法衣店**

代表取締役社長 幾田 潤

〒600-8503  
京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)  
電話 075-365-0001(代) FAX 075-353-7021

東京店/東京都新宿区三栄町11-6  
電話 03-3358-1500(代表)

天台宗務庁御特命  
三諦章袈裟専織所

山寺片達  
本務所用  
総延宗御

**森忠法衣店**

五代目 森 忠兵衛

〒604-0842 京都市中京区押小路通烏丸東入  
電話 075-231-1203番  
FAX 075-255-7020番

# 平成二十五年度 天台仏教青年中央研修会報告

天台宗務庁 社会部課長 高見 昌良



平成二十五年度の天台仏教青年中央研修会は、連盟代表とも話を重ね、日程の決定、講師の選定をさせていただきました。

第一講目の講師には大正大学名誉教授多田孝文先生をお招きしました。東日本大震災発生時、目立った略奪行為もなく、支援物資を整然と受け取る日本人の姿が世界に賞賛

されましたが、その行動の精神的ベースには何かがあるのか。仏教の教えもいかに関わっているのかを解説いただきました。

第二講目の講師には仏教NGOネットワーク(BNN)の自覚大道師をお招きしました。BNNの発行されました『寺院備災ガイドブック』を基に、災害に寺院が如何に備えるべきか、また、災害発生時以後寺院が如何に被災者と関わるべきかを講演いただきました。

第三講目の講師には、叡山学院学監桑谷祐顕師をお招きし『慈覚大師和讃』の解説をいただきました。

から、大師の生涯を大変わかりやすくご講義いただきました。東日本大震災発生から、丸三年が経過しようとしている今日、その震災から学び、明日起こるかもしれない災害に適切に備え、多くの人々を守る事が私たちに与えられた大きな使命であると思います。天台宗としても『災害対策マニュアル』の作成に向け、鋭意作業をすすめておりますが、教師一人一人の防災、備災の意識向上なくして有効な活用はできません。この中央研修会に参加された方の意識が少しでも向上したのであれば、その目的は達成できたのではないのでしょうか。

「天台仏教青年中央研修会に参加して」

栃木仏青 二見 亮寛

平成二十五年十一月十九日〜二十日、延暦寺会館に於きまして天台仏教青年中央研修会に参加させていただきました。

第一講は、大正大学名誉教授・多田孝文先生による「自然とともに」でした。日本人の素晴らしい精神文化には、仏教の哲学・思想も大きく影響しているという大変興味深い講演でした。

第二講は、仏教NGOネットワークの自覚大道師による「寺院備災ガイドブックの活かし方」でした。実際に災害設定を立て、課題に解決・対応していく形で進められ、改めて備品・備蓄の大切さを思い知りました。

第三講は、叡山学院学監・桑谷祐顕先生による「和讃から見た慈覚大師の生涯」でした。非常に優しく丁寧に解説いただきました。

大変有意義な研修に参加させていただき、この場をお借り致しまして感謝申し上げます。

天台宗専門法衣司

## 山科大西法衣店

〒607-8357

京都市山科区西野樫川町45-21

電話 (075) 591-9159  
FAX (075) 502-5418  
020 0120-568-024

## 空風火水地

品質第一をテーマに、自然と調和を大切にした製品作りに励んでまいります。

営業品目 卒塔婆 角塔婆 経木塔婆 ゴマ札 各種特すあり



塔婆製造販売  
(株)協和木工所  
東京都西多摩郡日の出町平井1316  
TEL. 0425-97-0732  
FAX. 0425-97-1816



# 仏法興隆花まつり千僧法要

〔平成二十五年四月二十六日 奈良東大寺大仏殿にて〕

全日本仏教青年会理事長 伊東 政浩

平成二十五年四月二十六日 〔仏法興隆花まつり千僧法要東日本震災及び各地災害復興祈願〕が奈良東大寺に全国より青年僧が集結し盛大に厳修されました。

大仏殿に続く参道は大勢の参拝者で埋め尽くされ、約三〇〇名の青年僧の行列がその中を進み、大仏殿へ向かいました。一行は大仏殿の毘盧舎那大仏様が鎮座される蓮台に上り、先ず天台宗仏教青年連盟による声明「散



## 千僧法要から得たもの

茨城仏青 笹沼 俊匡

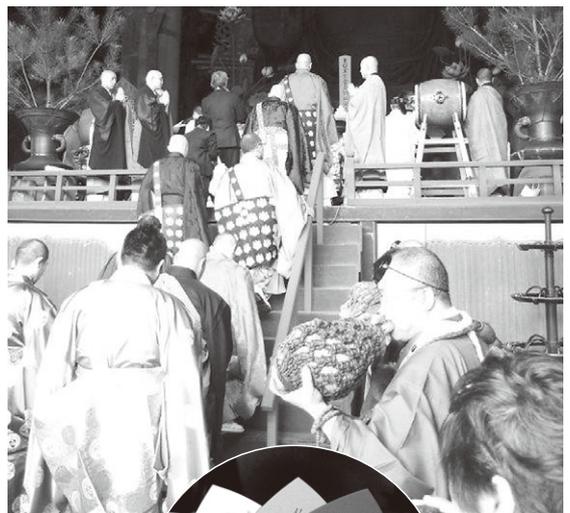
この度、「仏法興隆花まつり千僧法要」という、宗派を越えた法要に参加できた事に、感謝致します。これは、奈良東大寺大仏殿毘盧遮那仏御宝前に於いて、毎年四月二十六日に厳修され、東日本大震災及び各地災害復興祈願として、又、災害にあわれた方々への慰霊法要として行われました。私にとつて他宗との交流は、ほぼ皆無でしたので、いい機会だったと思えます。融通念仏宗の声明・念仏、日蓮宗の木剣修法、曹洞宗の威勢のよい太鼓、他宗派の法要をじかに肌で感じ、見られたことは貴重な体験でありました。

又、この法要を通して、祈りはコトバだと実感しました。言葉は、「力なり」ではないでしょうか。同じ目的で集い、皆がそれぞれに心を無にして祈る。その止むに止まれぬ思いから、言葉になり、原動力に繋がるのです。今も苦悩されている方々へ、心の安らぎ、生きていく糧を与える努力を、日々考え、発信し、行うべきであることを心

華」が奉唱され、声明に合わせて散華を行いました。天台宗青年僧により清く荘厳された大仏殿において、村山全日仏青理事長による東日本大震災や各地で起こった災害の犠牲者への追悼、そして早期復興の願文が奉読され、僧俗一体となり毘盧遮那大仏様へ祈りを捧げました。引き続き、各加盟団体の法要が厳修され、東大寺に奉納された大般若経六百巻が転読されました。

大仏殿での法要後、アショカピラー宝塔において南都二六会々長導師の下に法要を厳修し、参道では広宣布教として参拝者の方々に「花の種」を配布する活動を行いました。途中で雨が降る不安定な天候でしたが、千僧法要は円成しました。

天台仏教青年連盟各聖のご尽力に深く感謝申し上げます。千僧法要は本年も四月二十六日に行います。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



に留め、この壮大な、毘盧遮那仏に祈りを捧げる事ができました。この行事はとても意義のあるものだと感じました。これからも、祈り続けるという持続が大切であり、それは、点ではなく、線となり、様々な縁を生み、その縁は、正しく生きて行く糧になるのでしょうか。その心が仏法興隆にも繋がるのではないのでしょうか。

仏の教えを胸に刻み、人の心に寄り添い、現実社会に貢献できるよう、日々精進していく次第で御座います。

## 天台宗の共済

かけがえのない寺院建物  
収容動産を火災や水災等の  
様々な災害からお護りする

## 天台宗災害補償制度

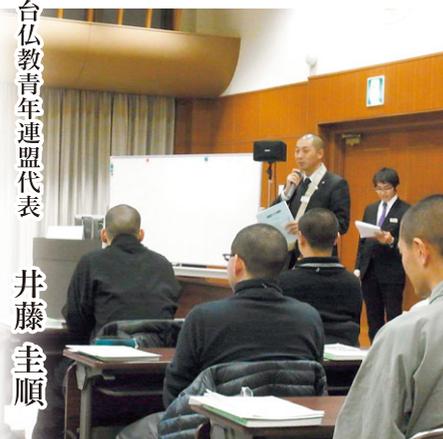


# 防災士育成研修会報告



天台仏教青年連盟代表

井藤圭順



**天** 天台宗務庁において、十二月十七、十八日に一宗と当連盟の共催する防災士研修講座が、受講生と有資格者である聴講生を含めた四十六名の参加で開催されました。

防災士とは自助・互助・協働を原則として、防災の意識・知識・技能を持っていると認められた人であり、その役割については大きく分けて三つあります。一つめは、災害時の公的支援が到着するまでの被害の拡大の軽減、二つ目は、災害発生後の被災者支援活動、三つ目は、平常時の防災意識の啓発、自助・共助活動訓練などです。

さて、今回の研修会は二日間で行われ、初日の開講式・オリエンテーションに始まり、九時より普通救急講習と一時限目から七時限目の講義の二班に分かれ、最終日の資格取得試験が終わる午後六時までのカリキュラムが組まれていました。全過程において受講生の真剣さが伝わってきました。

しかし、重要なのはこれからであります。現地での活動は勿論のこと、防災・減災に対する各寺院の取り組みや備え、またネットワークの構築に向けて、中・長期的な計画を立てながら、研修会などの企画を行っていく必要があると考えております。

最後になりましたが、この研修会の開催にあたり、一宗より格別のご理解とご協力、また多大なるご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。





『防災士』。私自身もお恥ずかしながら、井藤代表よりお話をいただき、研修講座の準備に関わり、防災士資格を得る機会を得るまで、その存在、活動内容を知りませんでした。今回の研修を終え、防災・備災の為に『防災士』が担う重要性を改めて認識しました。

天台宗内の多くの教師がこの資格を取得し、防災・備災の知識、意識を得て、有事に適切な行動をとれるのであれば、どんなに天台宗の寺院が地域社会に貢献できることでしょうか。

天台宗では東日本大震災での対応を教訓に、災害マニュアルの作成に鋭意取り組んでおります。防災士を取得された教師の方々には、今後、減災と寺院の防災力向上のために必要な意識・知識・技能を習得したスペシャリストとして、天台宗災害対策本部と連携をとりながら、減災・備災対策にご協力いただきたく存じます。

社会部課長 高見 昌良

●研修プログラム

	1日目(12 / 17)		2日目(12 / 18)	
	受付・開講の挨拶・オリエンテーション		受付	
	Aグループ	Bグループ	Aグループ	Bグループ
1時限目	防災士の役割 (橋本 茂 講師)	普通救命講習 (大津市消防局西分署)	普通救命講習 (大津市消防局西分署)	防災士の役割 (甘中繁雄 講師)
2時限目	地域の防災活動 避難所の開設と運営 (講義並びに演習) (橋本 茂 講師)			地域の防災活動 避難所の開設と運営 (講義並びに演習) (甘中繁雄 講師)
3時限目	昼食 (防災ビデオ上映)			昼食 (防災ビデオ上映)
4時限目	災害情報と災害報道 (松井一洋 講師)	土砂災害と対策 (岡本正男 講師)	気象災害 (船見道信 講師)	災害医療 (西村明儒 講師)
5時限目	災害と流言・風評 (松井一洋 講師)	閉講の挨拶・事務連絡	防災士資格取得試験	
6時限目	地震のしくみと被害 (伊藤和明 講師)			
7時限目	近年の自然災害に学ぶ (伊藤和明 講師)			
	事務連絡			

●講師陣

50音順・敬称略

伊藤 和明 (防災情報機構 NPO 法人会長、元 NHK 解説委員) 橋本 茂 (NPO 法人日本防災士機構理事、NPO 法人日本防災士会常任理事)

岡本 正男 (全国治水・砂防協会理事長) 船見 道信 (日本気象株式会社 気象予報士)

甘中 繁雄 (防災士研修センター 代表取締役) 松井 一洋 (広島経済大学経済学部 メディアビジネス学科主任教授)

西村 明儒 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 法医学分野教授)

●防災士資格取得者

50音順

青木 大樹	小作 晃胤	佐久間実雲	田中 晃生	林 昌伸	山石 亮秀
赤松 圭祐	河合 乗信	清水谷善誠	谷 晃仁	藤井 祐幹	山本 賢潤
甘井 良憲	河村 隆哲	菅原 文英	瑞樹 弘芳	藤村 憲龍	横山 大山
磯村 良定	隈井 修道	鈴木 乗庸	中里 正敬	二見 亮覚	米谷 向史
井藤 圭順	小島 白融	染川 智勇	長野 寂照	益子 亮陽	和田 隆教
榎森 舜田	小林 玄超	鷹野 慈法	西郊 良貴	丸山 晃俊	
大塚 貫哲	小林 昭寛	高見 昌良	櫛木 良仁	幹 敬盛	
大塚 善仁	小林 伯裕	瀧川 亮昌	羽馬 康俊	光榮 純貴	
岡 康照	齋藤 哲圓	立松 圓俊	林 俊康	柳澤 光元	



# 第三十五回 東日本仏青親睦野球 北総大会

北総仏青

林 尚順

平成二十五年五月八日・九日、北総仏青主催による東日本親睦野球大会が開催されました。

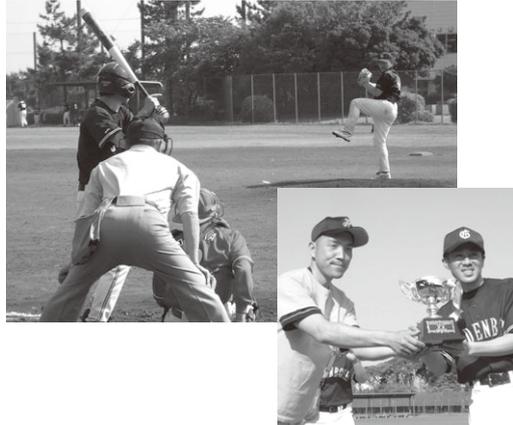
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張を懇親会場に、稲毛海浜公園、美浜ふれあい広場、二ヶ所のグラウンドを使用した日程でした。

第一日目、各仏青からの多くの参加者、来賓を含め一八〇名出席いただき和やかに懇親会が始まり、試合抽選会や各チーム紹介、そして今回は懇親会内でのルール説明、また次回開催地の信越仏青さんによるプレイボール宣誓が行われました。

第二日目、晴天。まさに野球日和となり参加チーム二会場に分かれ予選トーナメント開始。最高のコンディションに恵まれ白熱した試合が進み、各チーム優勝を狙う勢いが感じられグッドプレイも続出。各ブロックから勝ち上がったチームが決勝トーナメントへ進む。

会場は稲毛海浜公園、潮風を感じながら熱さを忘れ試合に集中、参加者を観客に決勝ステージ、どのチームも勇者に相応しい戦いで大いに盛り上がり、見事優勝は茨城仏青が勝ち取りました。

大会を終えて、汗をかきながら更に厚く親睦が深まる野球大会、一年に一度の開催ですが、心技ある場として続けていただきたいと思えます。参加された皆様に感謝御礼申し上げます。



## 東日本仏青親睦野球大会に参加して

茨城仏青 根本 智康

記念すべき第三十五回東日本仏青親睦野球大会が平成二十五年五月九日、北総仏青主催のもと開催されました。私達茨城仏青も親睦会ではありますが、やるからには優勝を目指そうと強い意気込みで臨みました。

前日はホテルにおいて懇親会が開催され、面識のある方達と久しぶりに再会し有意義な夜を過ごしました。普段はなかなか会えない人達と会える交流会の大切さを実感し、自分達が主流になっても続けていこうと思います。

当日は好天にも恵まれ野球を思う存分楽しめ、当仏青は悲願の優勝を達成しました。この充実した二日間を用意してくださった方々にこの場を借りて感謝したいと思います。

## 念願の初参加

京都仏青 赤松 圭祐

五月九日北総仏青主催のもと、第三十五回東日本仏青親睦野球大会が開催されました。当仏青からは二名、兵庫・岡山仏青と合同で西日本仏青として参加させていただきました。

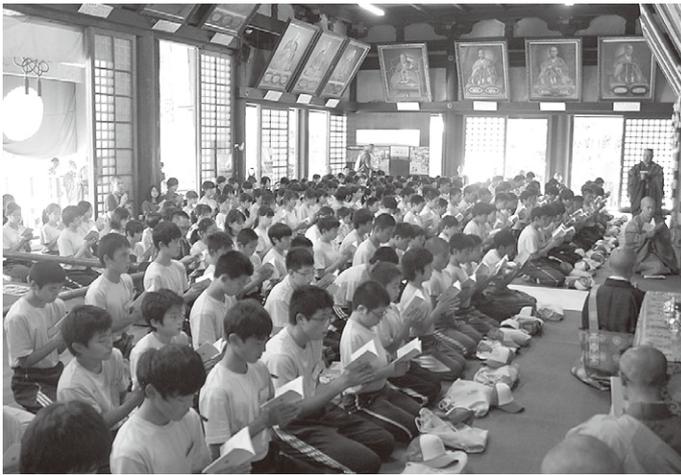
当日は、例年の気温を遥かに超える暑さの中開催されました。結果としては準優勝で悔しい思いをしましたが、念願の参加が叶ったことがなにより嬉しく思います。四・五年前から参加を希望していたのですが、その日に限って急な所用が入り、断念せざるを得なかっただけにとても楽しく白熱した時間を過ごさせていただきました。

また、前日の懇親会では普段交流できない会員の方々と親睦を深めることができ、素晴らしい時間でした。有難うございました。

# 第四十八回 天台青少年比叡山の集い

実行委員長 寺本 亮晋

「天台青少年比叡山の集い」は、天台宗と比叡山の共催の下、全国の小学六年生から中学三年生までを対象として毎年八月初旬に行われる研修です。研修生は比叡山という環境の中、三つの誓い（伝教大師が目指した国宝的人材となるための三つの実践項目）・平和の合い言葉（世界の平和を目指す三つの目標）・



発心会・三塔巡拝・営火という五つの柱を中心に実践しています。指導を担当するのは、実行委員を始め、全国の仏教青年会の会員を中心とした約七十名の若いリーダー達です。本年度の「集い」は、被災された教区からの参加者も含め、約一九〇名の参加となりました。今回で四十八回を迎えました

が、毎年開催すること、は、ともすれば行事として漫然になってしまっています。研修生の安全や安心を脅かすことのないよう気を引き締め、必ず新しいことに挑戦してより魅力的な研修となるよう心がけました。研修生はサブテーマである「規律と合掌」という基本に立ち返ってほしい、感謝や平和の大切さを学ぶことで研修期間が充実したものになったと思



ます。

さて、「集い」は二年後に五十回を迎えます。実行委員会では節目の第五〇回に向けて、何か記念となるよう企画を始めました。そこで、手始めとして、十数年ぶりに「沙羅の会」という青少年リーダーのOB会を十一月に開催しました。皆様から叱咤激励を頂戴し、おかげさまで大変盛況のうちに終えることができました。節目の年に向けていいスタートが切れたと思っています。



加者が多く、西からの参加者が減少してきます。ぜひ一度、どのような形でも構いませんので、「集い」に参加していただき、この素晴らしい体験を共有していただきたいと思います。

## 地域に広がるタリイ会館ネットワーク

加古川 明石 神戸



私たちは皆様の立場にたって「心」に残るお葬式を執り行っています

タリイ会館 舞子 タリイ会館 林崎  
タリイ会館 大蔵谷 タリイ会館 大久保  
タリイ会館 新明 タリイ会館 魚住  
タリイ会館 土山  
タリイ会館 東加古川

総本一ルティンクス株式会社(東証一部)グループ株式会社 タリイ

ご相談は無料! 0120-365-365 <http://www.tarui365.co.jp>

絆創造業 平安閣グループ

# 平安会館

事前相談受付中

052-916-1251

株式会社 平安閣 葬祭部 平安会館 相談 検索

総本山延暦寺 御用達

# 法衣店 中末

〒606-8287

京都市左京区北白川上池田町12-1

TEL 075-723-8865

FAX 075-723-8867

天台仏教青年連盟

協賛金協力者ご芳名 (敬称略)

皆様の絶大なる御支援に心より御礼申し上げます



天台宗務庁

天台宗宗務総長

木ノ下 寂俊

総務部長

阿部 昌宏

法人部長

長山 慈信

財務部長

田中 祥順

教学部長

中島 有淳

社会部長

角本 尚雄

一隅を照らす運動 総本部長

横山 照泰

延暦寺執行

武 覚 超

宗議会議員

(寺籍簿順)

群馬教区 妙見寺

小川 晃 豊

茨城教区 如意輪寺

船戸 俊 宏

栃木教区 圓林寺

柳澤 最 伸

教区宗務所長  
(寺籍簿順)

栃木教区 光樹院

柴田 立 史

近畿教区 松尾寺

高岡 保 博

福島教区 金礼寺

林 光 俊

兵庫教区 長光寺

雲井 明 善

陸奥教区 観音寺

鮎貝 宗 城

山陰教区 大日寺

見上 知 正

南総教区 観明寺  
細野 舜 海

東京教区 深大寺

張堂 完 俊

北陸教区 薬王寺

青木 大 瑩

東海教区 甲山寺

可児 光 永

近畿教区 本山寺

百濟 寂 仁

杜多徳雄 東京教区 法藏院	溝江光運 神奈川教区 妙樂寺	天谷良永 北陸教区 帆山寺	中村廣文 東海教区 成願寺	森喜良 三岐教区 常住寺	大西栄光 四国教区 大通寺
齋藤宏明 栃木教区 月藏寺	酒井貫全 茨城教区 圓滿寺	谷晃昭 群馬教区 西光寺	木本清玄 埼玉教区 福正寺	浅野玄航 南総教区 妙音寺	中里康道 北総教区 長樂寺
小林隆彰 延暦寺一山 千手院	宗内御寺院・団体 (寺籍簿順) 5口以上ご協賛の方	梶谷隆幸 玄清法流 成就院	諸法流団体	千葉亮賢 陸奥教区 萬福寺	矢島義謙 福島教区 観音寺
酒井妙照 東海教区 明光院	久保寺美好 三岐教区 華嚴寺	森妙香 九州西教区 宝満山妙香庵	高倉聖法 九州西教区 種因寺	秦順照 九州東教区 臨濟寺	瀧澤智明 京都教区 寂光院
本多賢眞 東京教区 観音寺	田島章成 東京教区 正法院	市原孝信 東京教区 龍眼寺	永井良祐 神奈川教区 龍門寺	中島有淳 神奈川教区 等覺院	生方常明 神奈川教区 天王院



## 全国大会埼玉結集のご案内

平成26年9月29日(月)～30日(火) さいたま市

平成26年度の天台仏教青年連盟主催による全国大会結集は、埼玉の地で開催いたします。

日程は平成26年9月29日(月)～30日(火)、会場はさいたま新都心「ホテルラフレさいたま」において開催の準備をすすめております。

講師には、天台宗勸学院出仕者であり、宗典編纂所編纂員、宗義研究所教学部門指導員をお務めいただいております。また早稲田大学教授でもある大久保良峻氏をお迎えいたします。大久保氏は伝教大師最澄や台密の研究がご専門であり、現在の日本天台の権威と言っても過言ではありません。大久保氏を講師にお迎えすることは、全国の天台青年僧にとっても大変意義あることだと考えております。

また、2日目の県内寺院への移動研修やその他詳細につきましては、日程が確定次第、各教区仏青様にご連絡申し上げます。

祖師先徳讃仰大法会期間中の埼玉結集が、天台青年僧としての更なる自覚と研鑽の場となるよう、埼玉天台仏教青年会一同、心からのおもてなしをさせていただきます。万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

〈埼玉仏教青年会副会長 清水 英樹〉

## 第36回 東日本仏青親睦野球 信越大会のお知らせ

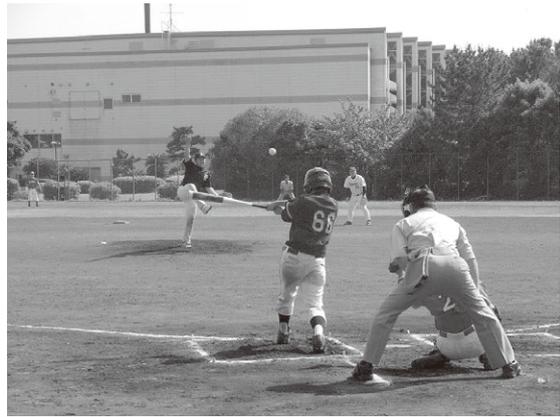
### 【大会日程】

平成26年5月26日(月)～27日(火)  
・26日/懇親会 ・27日/野球大会

### 【懇親宿泊会場】

美ヶ原温泉 ホテル翔峰  
(長野県松本市大字里山辺527)

※詳細は後日ご案内致します。



【問い合わせ】信越仏教青年会

## 天台仏青連盟ホームページ のお知らせ

<http://www.t-y-b-a.com/>

または『天台仏教青年連盟』で検索

天台仏教青年連盟は会員情報収集のツールとしてはもちろん、一般の方が見て連盟や各教区仏青の活動が分かるようなホームページを目指して日々更新しております。

また、平成24年度から引き続き『Q&A』を追加し会員の法話材料として、一般の方の興味として掲載を順次進めていきます。ほかにも東日本大震災を含め、ボランティア活動の予定・報告や連盟・各仏青の活動予定なども掲載しております。各仏青の活動だけでなく教区を越えて横のつながりがこれからは必要となってくるので、全国レベルでの情報交換ツールとして皆様のお役に立てればと考えております。皆様のご協力をよろしくお願いたします。

〈情報通信委員会〉



## 平成25年度天台仏教青年連盟 救援募金のご報告

- 島根県大雨災害…………… 合計 100,000円
- 山口県大雨災害…………… 合計 100,000円
- 岩手県豪雨・大雨災害 …… 合計 100,000円
- 秋田県大雨災害…………… 合計 100,000円
- 埼玉県竜巻・台風災害 …… 合計 100,000円
- 京都府台風災害…………… 合計 100,000円
- 鹿児島県台風災害…………… 合計 100,000円
- 伊豆大島台風災害…………… 合計 100,000円
- 千葉県台風災害…………… 合計 100,000円
- 連盟地球救援募金…………… 合計 847,317円

合計…………… 1,747,317円

ご協力いただきました各仏青様に感謝いたします。  
今後ともご協力のほどよろしくお願いたします。

〈救援委員会〉

※上記の支援金・募金は平成26年1月末日現在です。



— 担当 —  
本山・兵庫・九州東  
神奈川・埼玉・北海道

### 結集研修委員会

委員長(神奈川) 西郊良貴

結集研修委員会のご報告を致します。結集の開催教区の選定を始め、開催に至るまでの様々な準備のお手伝いや助言等を行ってまいりました。また、中央研修会のテーマ内容及び講師の選定を企画検討し、本庁と連携をはかりながら仏青会員諸師の興味や時代にあつた研修会を協議しています。

今年度の結集に関しましては、神奈川仏青様が主体となり、連盟と幾度と無く打ち合わせを重ねて二百名を超える大変多くの仏青の皆様にお集まりいただきましたこと委員会として厚く御礼申し上げます。また、来年度は埼玉教区での開催になりますので、仏青の皆様には多くの御参加の御協力を御願致します。

#### ◆結集開催予定

- 平成二十六年 埼玉教区仏青
- 平成二十七年 兵庫教区仏青
- 平成二十八年 北海道教区仏青
- 平成二十九年 九州東教区仏青



— 担当 —  
京都・近畿・信越・南総  
栃木・福島・山形

### 救援委員会

委員長(福島) 林俊康

近年全国各地において発生している自然災害は地震・水害・台風・竜巻と想像を超える甚大な被害が頻発しておりその都度ボランティア活動や托鉢による募金活動等ご協力いただきました事、深く感謝申し上げます。

救援委員会では、平時の活動として募金活動の協力を呼びかけ、災害時には災害救助法の適用を参考にして義援金を抛出し同時に各委員が担当都道府県の被害状況の調査や情報収集を行い、必要に応じて周辺教区仏青に救援活動の依頼をする体制を整えております。また、全教区仏青に防災士という防災・減災に対してリーダーシップをとり活動できる人材が誕生しております。今後は連盟役員・防災士・救援委員会との横の繋がりを今以上に密にして青年僧侶の行動力を活かし活動をして参りたいと思っております。今後もより一層のご理解と協力をお願い申し上げます。



— 担当 —  
岡山・山陰・九州西  
東京・群馬・陸奥

### 情報通信委員会

委員長(群馬) 谷晃仁

天台仏教青年連盟は会員情報収集のツールとしてはもちろん、一般の方が見て連盟や各教区仏青の活動が分かるようなホームページを目指して日々更新しております。

また、平成二十四年度から引き続き『Q&A』を追加し会員の法話材料として、一般の方の興味として掲載を順次進めていきます。ほかにも東日本大震災を含め、ボランティア活動の予定・報告や連盟・各仏青の活動予定なども掲載しております。各仏青の活動だけではなく教区を越えて横のつながりがこれからは必要となつてきますので、全国レベルでの情報交換ツールとして皆様のお役に立てればと考えております。各仏青の報告を掲載することがHPの活性化になります。是非とも事務局まで活動報告をご連絡下さい。皆様のご協力よろしくお願致します。連盟HPアドレスは本誌十二頁に記載がありますのでそちらを参照下さい。



— 担当 —  
滋賀・四国・三岐・東海  
北陸・北総・茨城

### 布教広報委員会

委員長(三岐) 久保寺福美

本年度は通常の会報誌に加え、新旧の連盟役員と全国の代議員を紹介する臨時号を発行する運びとなり、多方面より原稿執筆等ご協力を賜わり、無事発行する事が出来ました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

さて本号では昨年よりも、更によりきめ細やかな情報をお伝えするよう心掛け、写真の掲載を増やし、各行事主催にお願いして出来る限り責任者の方から原稿をいただくよう努めました。また特集ページでは現連盟当局が強く推し進める防災士育成研修会を取り上げ、今後仏青のみならず、天台宗内外においても重要な役割を担っていくであろう、その第一歩を発案者である井藤代表の説明も加えて掲載させていただきました。これからも現状に留まる事無く、一生懸命努めさせていただき所存ですので、皆様方の一層のご意見ご協力の程、心よりお願い申し上げます。

#### 編集後記

今年度の布教広報委員会は統投の久保寺委員長と新しい委員のもと会報誌「天台佛青連」の作成となりました。一通り把握されている委員長のもとで最初の委員会から掲載する記事についてや構成など、打ち合せもスムーズにいきました。

今回の特集は東日本大震災やボランティア活動の教訓を受けての事業となりました「防災士育成研修会」といたしました。また中央研修会にも寺院備災についての講演が盛り込まれており、これからは日頃の防災への意識の向上、地域防災の啓発活動など考えていかなければならないのだと感じました。

また、他にも神奈川結集や御影供法要、千僧法要など各種行事を掲載いたしました。

本誌発行においてご協力いただきました皆様、御礼申し上げます。今後とも皆さんの方にご覧いただき、各活動を報告していきたいと思っておりますので、皆様のご意見、ご協力の程お願い申し上げます。

布教広報委員 横地全倫